



七尾中学校 学校だより
七尾の丘
校訓 「感 考 行」



マスコット“七王”(ななおう)

第2号

令和7年5月22日

廿日市市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

命の大切さについて考える日

毎年、5月8日には廿日市市の全ての市立小・中学校で「命の大切さについて考える日」の取組を行っています。なぜ、こんな取組をしているのでしょうか…。

今から12年前の平成25年5月8日、本市中学3年女子生徒が自分自身で命を絶つという大変悲しい出来事がありました。そして、その後の調査で、いじめが自死に至る精神的苦痛を招いた大きな誘因であると報告されました。

いじめは許されるものではありません。いじめによって苦しみ、命を落とすことがあります。いじめは命にかかわる重大な問題でもあるのです。私たちはこのことを決して忘れてはなりません。

そのため、平成26年度から女子生徒が亡くなった5月8日を「命の大切さについて考える日」として、廿日市市ではすべての子どもたちが、いじめを絶対に許さないという視点に立ち、自分や他人の命の大切さを真剣に考える取組を行っているのです。

七尾中学校では、5月8日の朝、体育館に全校生徒が集まり、全校集会を行いました。

最初の校長講話では、

「私は、ことあるごとに七尾中の主役は生徒の皆さんだと言っています。ここにいる生徒一人一人、そして、今、この場所にいられない生徒一人一人も大事な七尾中の主役です。

七尾中の3年間という舞台で、みなさん一人一人にそれぞれストーリーがあって、その主人公があなたです。あなたのストーリーが、他の誰かによって歪められるようなことがあってはいけません。

だから、七尾中の先生はいじめを絶対に許しません。

そして、七尾中をいじめのない学校にしていくためであれば、生徒と先生でできることは何だってやるつもりです。」という話がありました。

そして、その後には、生徒会執行部から七尾中でいじめ防止のために、生徒が考え取り組んできた「ハートフルプロジェクト」の振り返りと、今後の改善についての説明がありました。

その後は、各教室に戻り、それぞれの学年で道徳の授業を行い、いじめについて真剣に考えました。

その授業の様子や、生徒の感想を少し紹介します。



↑ 生徒会執行部による説明の様子

【1年道徳】

LINEで起きる「いじめ」の性質や特徴、そしてそれを防ぐためには、どんな行動や発言が大切なのかを考えました。

(生徒の感想)

○意味のない発言や、悪口はいじめではないと送信者が思いこんでしまっているからいじめになったりするのだと思った。

○送信する前に、この文章は正しいのか、相手がメッセージを受けて少しでもいやな気持にならないかを一度考えることでトラブルがなくなる。

○命の大切さについて考えたけれど、この日はすごく大切なことを考えられて、すごく必要な日だと感じた。



【2年道徳】

「ダメなときはちゃんと叱ってくれる親友」や、「解決をめざした小さな努力の積み重ね」、「相手を尊重した言い方」の必要性について話し合い、いじめを解決するための行動や考え方について考えました。

(生徒の感想)

○いじめだと気づかず、いじめをしている人もいるから、それに気づかせてあげたり、叱ってあげたりすることが大切。何かの出来事や、一言でいじめは少しはなくなるはず。

○人からの注意を素直に受け取ることが大切だと分かった。本当の友達なら正してあげるのがその人のためになるし、人を助けることになることが分かった。

○勇気を持つことは大切だけど、直接いじめを止めるだけの勇気はないことが多いと思う。でも、あきらめずに、少しでも状況を良くしようと行動する勇気が必要なのかなと思いました。



【3年道徳】

“クラスの雰囲気を考えよう”。一部の影響力のある人物を中心に人間関係をつくるのではなく、どんな人とも話し合いや交流をすることの大切さに気づくことができました。

(生徒の感想)

○自分がこれから気をつけたいことは、グループとかでどんだけ仲が良くて度が過ぎたいじりはやめようと思った。言っても良い時とダメな時のメリハリをつけ、時と場を考えて発言や行動をしようと改めて思った。誰とでも対等な立場で接することを意識して学校生活を過ごしていきます。

○グループの中で、上下関係なくみんな同じ立場で、顔色をうかがって言いたいことが言えないなどの関係をつくらない。注意できず流される友情は本当の友情とは言えないと思った。自分の価値観や感覚で発言せず、相手の身になって考えることが大切だと思う。

○他グループの関係性以外にも、同じグループ内のカーストや雰囲気によるいじめも気をつけるべきだなどと考えた。仲が良いからこそ雰囲気をこわさないために自分の意見が言えなくなるけど、本当に良い関係性を保つためには、意見を伝えることが大切だと感じた。今日学んだことを日ごろに生かしていきたい。



熱中症予防について

保健委員会が全校生徒に向けてオンライン朝会で、熱中症予防について配信を行いました。

熱中症の症状や熱中症が起こりやすい環境、人的要因、予防方法などを学びました。

熱中症予防の“やくそく”は、①運動中にはこまめな休憩、水分をとること ②暑さに徐々にならしていくこと(暑熱順化) ③自分の体調・体力を考えること ④服装に気を付けることの4つでした。体育祭の練習が本格的になりはじめた生徒はしっかり自分事として熱中症の予防について考えることができました。

実際、運動中の水分補給は実行している人が多いのですが、同じくらい大切なのが運動を始める前の食事です。汗をかいて失われる水分、塩分を前もってきちんと補っておくことで、熱中症になるリスクを低くすることができます。そこで、保健委員会では「七王」の取組※として、体育祭までの1週間、「水筒を持って来ているか」、「朝ごはんを食べてきたか」のチェックをクラス全員で行っています。お互いに呼びかけを行い、クラス全員で安全に体育祭に挑む！！一人ひとりの行動で、最高の体育祭にしていけたらいいですね。

熱中症は未然に防げるものです。きちんと予防をしてこれから暑い夏を元気に乗り切りましょう！



※「七王」の取組…学校の委員会活動や日頃当たり前でなければならないことについて、各クラスで取り組み、日頃が充実しているクラスを表彰する。

お知らせ

○令和7年度の卒業証書授与式は、令和8年3月6日(金)に挙行することになりましたので、お知らせします。

○廿日市市では「令和7年度廿日市市・台湾基隆市国際交流来日交流」として、基隆市内の中学生12名が、11月5日(水)～9日(日)の期間で廿日市市を訪問される予定です。訪問期間中は、七尾中学校でも授業等の体験をする生徒がいますので、生徒のみなさんは楽しみにしていてください。七尾中学校に来られた時に、どのように歓迎するかも考えていきましょう。

なお、基隆市の中学生は訪問期間中、廿日市市内の中学生の家に短期ホームステイをします。そこで、本校でもホストファミリーを募集します。この時しか体験できないことが一杯で、一生の思い出にもなりますので、ふるってご応募ください。

詳細については、後日お伝えします。